

【ひたちなか市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月）等を踏まえ、ひたちなか市では目指す学びの姿を「自ら進んで問いを見だし、他者と協働しながら探究的に学ぶ姿」とする。具体的には、1人1台端末を活用し、児童生徒が自分の興味・関心や理解度・進度に合わせて、いつでもどこでも学ぶことができ、一人ひとりの能力を十分に発揮できること。多様な学び且つ主体的・対話的で深い学びができることを目指す。

2. GIGA第1期の総括

ひたちなか市では、これまで1人1台端末の整備とともに、校内などの通信ネットワークの整備を進めてきた。また、ICT支援員の助言の下、授業での活用も徐々に進んでおり、児童生徒同士で意見交換を行い、問題解決に取り組むといったことも行われている。一方で、教職員のICTを活用した指導する能力については、教職員の意識・スキルといった面で学校内又は学校間での格差がある。今後、より一層1人1台端末の利活用を進めていくには端末、通信ネットワークや周辺環境等の整備に加え、教職員のICTを活用した指導力の向上が求められると考えている。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくに当たり、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していくとともに、1人1台端末の利活用方策として以下について検討していく。

- 必要に応じてICT端末を活用したオンラインによる授業配信をすることで、自宅や別室など、教室以外で学習している児童生徒等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じた支援を行うことができるようにする。
- 教職員向けの研修を実施し、共同編集や他者参照の学びを教職員が実際に体験し、ICTを活用した個別最適な学び、協働的な学びを授業で行うことができるようにする。
- 市として教職員向けのICT研修を設けるだけでなく、市内各校にICT推進教師を選任することで、各校の実態に合わせたICT利活用の推進体制を整備する。
- 実践事例や先進的取組などの調査に加え、域外の取組についても意見交換ができるよう取り組む。